

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 16 日 (2009.7.16)

【公開番号】特開 2008-259212 (P2008-259212A)
 【公開日】平成 20 年 10 月 23 日 (2008.10.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-042
 【出願番号】特願 2008-96633 (P2008-96633)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 4/18 (2009.01)

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

H 0 4 W 88/18 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 1 3 3

H 0 4 Q 7/00 6 4 1

H 0 4 Q 7/00 6 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 3 日 (2009.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンテンツ配信トランザクションを定義するメッセージを相関させる方法であって、該方法は、コンピュータに実装された方法であり、

該方法は、

一意のトランザクション識別子およびメッセージインデックス値によって定義される一意のメッセージ識別子を、該コンテンツ配信トランザクションを開始するメッセージに関連付けることと、

該コンテンツ配信トランザクションの次の応答性メッセージを、該一意のトランザクション識別子および他のメッセージインデックス値によって定義される一意のメッセージ識別子に関連付けることと

を包含し、該他のメッセージインデックス値は、該コンテンツ配信トランザクション内の複数の次のメッセージに対応する、方法。

【請求項 2】

前記関連付けることは、トランザクションタイプを用いて前記一意のメッセージ識別子を定義することをさらに包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記コンテンツ配信トランザクションを開始する前記メッセージに対する前記メッセージインデックス値は、トランザクションタイプを識別する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

メッセージ識別子フィールドにおいて前記トランザクション識別子の後にメッセージインデックスを追加することをさらに包含する、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の方法

。

【請求項 5】

前記一意のトランザクション識別子、前記メッセージ識別子、前記一意のメッセージ識別子のうちの 1 つ以上は、グローバルに一意であるか、または、キャリアドメイン、デバ

イス、サーバ、サービスおよび／またはチャネルのうちのいずれかを含むコンテキスト内で一意である、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

コンテンツ配信トランザクションを定義する応答性メッセージを相関させる、無線ネットワーク内のネットワーク要素であって、

該ネットワーク要素は、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の方法のステップを該ネットワーク要素に実行させるように適合されたプロセッサ（ 6 1 2 ）を備える、ネットワーク要素。

【請求項 7】

前記ネットワーク要素は、配信クライアントまたは配信サーバである、請求項 6 に記載のネットワーク要素。

【請求項 8】

コンピュータデバイスのプロセッサによって実行可能なプログラム命令を格納するコンピュータ読み取り可能な媒体であって、該プログラム命令は、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の方法のステップの全てを該コンピュータデバイスに実行させる、コンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 9】

コンテンツ配信トランザクションを定義する応答性メッセージを相関させるシステムであって、

該システムは、

コンテンツ配信クライアント（ 7 6 0 ）と、

コンテンツ配信サーバ（ 2 0 ）と

を備え、該コンテンツ配信クライアントおよび該コンテンツ配信サーバは、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の方法を実行するように相互に通信する、システム。